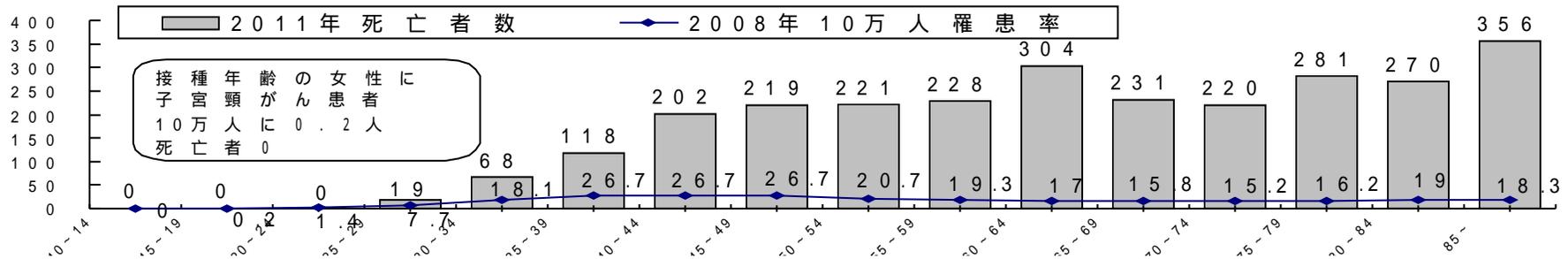


1、HPV ワクチン重篤な副反応 [ 2013年5月16日厚生労働省厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会・薬事食品衛生審議会食品等安全対策部会資料6-6 ]

ワクチン種類		副反応報告		うち重篤副反応		接種回数 (接種人数)	重篤副反応被害者	
		件数	発生率 (100万回当たり)	件数	発生率 (100万回当たり)		10万人あたり	確率
HPV	サーバリックス(h21年12月発売)	1705	245.1	795	114.3	6,957,386(258万人)	30.81人	3245人に1人
	ガーダシル(h23年8月発売)	263	155.7	83	49.1	1,688,761(70万人)	11.86人	8434人に1人
	合計	1968	400.8	878	163.4	8,646,147(328万人)	26.77人	3736人に1人
ヒブワクチン		627	59.2	249	23.5	10,591,278	インフルエンザワクチンと比較すると 重篤な副反応はサーバリックス 52 倍 ガーダシル 22 倍	
小児用肺炎球菌ワクチン		869	82.9	319	30.4	10,480,144		
インフルエンザワクチン		328	6.4	114	2.2	51,506,304		

2、接種年齢(12才～16才)の10代の死亡者は0人.罹患者は15～19才で2008年は6人(現在判明している抗体価の持続期間9年)

子宮頸がん年齢別罹患率、死亡者数



	10～	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～	75～	80～	85～
	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	85～
2011年死亡者数	0	0	0	19	68	118	202	219	221	228	304	231	220	281	270	356
2008年10万人罹患率	0	0.2	1.4	7.7	18.1	26.7	26.7	26.7	20.7	19.3	17	15.8	15.2	16.2	19	18.3
2008年罹患者数	0	6	49	286	801	1268	1113	1036	812	958	777	663	568	524	474	459

国立がんセンターがん情報センターのデータより作成